



**Fina**  
WORLD  
CHAMPIONSHIPS



**Fina**  
WORLD MASTERS  
CHAMPIONSHIPS

FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会  
FINA 世界マスターズ水泳選手権2022九州大会  
関連プロジェクトガイドライン

Ver.2 2022.6

FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会組織委員会

# 1 関連プロジェクトについて

## (1)背景

FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会組織委員会(以下、組織委員会)は、アジア初開催の2001年大会から22年ぶり2回目の福岡市での開催となったこの世界水泳福岡大会並びに世界中から水泳愛好家が集うマスターズ九州大会(以下、本大会)をきっかけに、多くの分野での成果を社会・地域に残す・継承することを目指しています。

これらを実現するために、様々な組織・団体が本大会に関連したイベント・事業(以下、関連プロジェクト)を通じて本大会に参画できるプロジェクトを構築します。

## (2)目的

本大会コンセプト実現のため、関連プロジェクトを広く募集することで、大会成功に向け全国的な気運醸成を図るとともに、より多くの人に参画いただくことを目指します。

～大会基本計画より～

<大会コンセプト>

# WATER MEETS THE FUTURE

ここで未来が待っている。

これまでで最も革新的でソーシャルな大会になる。

それは新しい水泳をつくりだす。

それは新しい福岡をつくりだす。

参加するすべての人が、未来に出会うことになる。

<5つの行動指針>

### 1 アスリートファーストの競技環境の追求

- ・出場選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、競技環境を整え、万全の大会運営を行う。
- ・世界記録の樹立に貢献し、後世に語り継がれる福岡大会を実現する。

### 2 テクノロジーによる新たなスタンダードの創出

- ・ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるスポーツ観戦の技術革新を継承し、今大会でさらなる進化を目指す。
- ・地域のテクノロジー企業と積極的に連携し、競技ごとの魅力を引きだし、世界水泳の新たなスタンダードをつくる。

### 3 福岡大会ならではの魅力の発信

- ・まだ知られていない地域の魅力を活用し、来訪者に新たな発見を与えられる大会を目指す。また、地域の人々が意欲的に大会に参加できる仕組みをつくり、地域全体が一体となる特別なまつり空間をつくる。

### 4 クオリティオブライフの向上への貢献

- ・大会開催を、「人々の明るく健康的な未来」のきっかけにする。
- ・水泳を楽しむことで健康寿命をのばす活動や、国際的な視野をもつための文化活動を積極的に支援する。これらを大会に先がけて進め、大きなムーブメントにつなげていく。

### 5 多様な力と主体性の尊重

- ・多様な個々が力をあわせ、志をひとつにして大会をつくりあげる。
- ・文化や立場をこえて主体的に大会運営に参加し、大きな感動を九州、日本、アジア、世界中へと広げる大会を目指す。

## 2 基本要件

### (1) 関連プロジェクトの対象団体

関連プロジェクトは、実施する組織・団体により 2 種類のプロジェクトで構成されます。

FINA世界水泳2022 FUKUOKA OC オフィシャルプロジェクト	FINA世界水泳2022 FUKUOKA OC サポートプロジェクト
<ul style="list-style-type: none"><li>・開催都市(福岡市、熊本市、鹿児島市)</li><li>・福岡大会組織委員会及び組織委員会構成団体 (非営利団体が対象)</li><li>・福岡大会実行委員会及び実行委員会構成団体 (非営利団体が対象)</li><li>・大会スポンサー</li><li>・ホスト放送局</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・公共関連(キャンプ予定地自治体等)</li><li>・スポーツ関連(日本スイミングクラブ協会等)</li><li>・経済関連(商工会議所等)</li><li>・国際関連(大使館等)</li><li>・公益法人等(公益財団・社団、社会福祉法人等)</li><li>・学校関連(小中高、大学、高専等)</li><li>・地域関連(自治会・町内会等、商店街等)</li><li>・その他(NPO 法人、任意団体等の非営利団体)</li></ul>

### (2) 対象となる関連プロジェクト

- ① 本大会に関連性があるもの
- ② 大会基本計画の 5 つの行動指針に沿ったもの
- ③ 本大会の気運醸成につながるもの
- ④ 本大会参加者へのおもてなしにつながるもの

#### < 関連プロジェクト例 >

- ・各種水泳教室、水泳記録会
- ・水泳を題材にした作品展、ワークショップ等
- ・水辺、会場周辺の清掃活動
- ・ボランティア団体等による外国人向けガイドツアー
- ・学校、地域活動関連(特別授業、地域交流応援・歓迎事業)
- ・大学等での市民へのプール開放 など

### (3) 関連プロジェクト実施要件

- ① 反社会的勢力との関係がないまたはその恐れがないこと。
- ② 法令、公序良俗に反するものではないこと。
- ③ 安全に事業等が実施できること。
- ④ 営利を目的とする活動、特定の思想、宗教の布教・勧誘または政治的な宣伝・主張を目的とする活動を行わないこと。
- ⑤ 入場料等を設定する場合も、関連プロジェクトの目的及び内容に対し社会通念上、適切な料金設定であること。
- ⑥ スポンサーのマーケティング活動を妨害しないこと。

※具体的には、関連プロジェクトの告知物等において、大会スポンサー以外の企業名等を表示する必要がある場合は、一定の距離をあける、罫線を引く、背景色を分けるなど、誤認されないよう明確に差別化することなども含みます。

### (4) 関連プロジェクト対象期間

本大会閉会日(2023年8月11日(金))までに実施される関連プロジェクト

### 3 認証の特典

認証を受けた関連プロジェクトは、以下の特典が受けられます。

なお、特典は本ガイドラインのほか、「FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会 FINA 世界マスターズ水泳選手権 2022 九州大会関連プロジェクトマーク等取扱基準(以下、マーク等取扱基準)」に基づき使用してください。

#### (1)FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC オフィシャルプロジェクト

##### ①プロジェクト名称等の使用

当該関連プロジェクトの告知、実施、報告に以下のプロジェクト名称を使用することができます。

なお、「FINA 世界水泳 2022 福岡大会」等の文言は、組織委員会の保有する知的財産であり使用に関しては留意が必要です。

当該関連プロジェクトが世界水泳福岡大会そのものであることや、組織委員会主催の取組みと誤認されない表現に限り、関連プロジェクトのタイトルや説明文に使用することができます。

<プロジェクト名称>

「FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC オフィシャルプロジェクト」

<関連プロジェクトのタイトル使用例>

×：「FINA 世界水泳2022福岡大会写真展」(直接的な形容詞として使用)

○：「FINA 世界水泳2022福岡大会の開催を記念した写真展」(句として修飾)

##### ②FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC オフィシャルプロジェクトマークの使用



##### ③本大会公式ウェブサイトや本大会公式 SNS 等での関連プロジェクト情報の発信

## (2)FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC サポートプロジェクト

### ①プロジェクト名称等の使用

当該関連プロジェクトの告知、実施、報告に以下のプロジェクト名称を使用することができます。

なお、「FINA 世界水泳 2022 福岡大会」等の文言は、組織委員会の保有する知的財産であり使用に関しては留意が必要です。

当該関連プロジェクトが世界水泳福岡大会そのものであることや、組織委員会主催の取組みと誤認されない表現に限り、関連プロジェクトのタイトル以外の説明文等に使用することができます。

<プロジェクト名称>

「FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC サポートプロジェクト」

<関連プロジェクトのタイトル・説明文使用例>

×：「FINA 世界水泳2022福岡大会写真展」

○：「水泳写真展」

(説明文)FINA 世界水泳2022福岡大会の開催を盛り上げるための写真展を開催します。

### ②FINA世界水泳 2022 FUKUOKA OC サポートプロジェクトマークの使用



### ③本大会公式ウェブサイトや本大会公式 SNS 等での関連プロジェクト情報の発信

## (3)マーク等の使用要件

各プロジェクト名称及びマーク等は、以下の要件を全て満たす必要があります。

- ①組織委員会が認証した関連プロジェクトにのみ使用すること。
- ②マーク等の使用については、関連プロジェクトの実績報告におけるマーク等の使用を除き、関連プロジェクトが終了した日、または、組織委員会が本使用許諾の取り消しを通知した日のいずれか早い日までとすること。なお、組織委員会が本使用許諾を取り消した場合は、直ちに使用を中止すること。
- ③認証を得たマーク等は、使用と異なる目的等で使用せず、修正または改変しないこと。
- ④マーク等を自己もしくは第三者の商品・サービス等の宣伝、また認証を受けた関連プロジェクトに寄付金を募るなどの資金調達目的で使用、または営利目的で使用しないこと。
- ⑤同一団体の関連プロジェクトであっても、組織委員会に申請することなく他の関連プロジェクトにマーク等を使用しないこと。
- ⑥マーク等の使用にあたって、組織委員会が指定した条件、その他の指示を遵守するとともに、サイズ、配置、フォント、色調等について、マーク等取扱基準を遵守すること。
- ⑦本関連プロジェクトに係る認証に基づく一切の権利または義務を、組織委員会の承認なく、譲渡等しないこと。
- ⑧マーク等の使用にあたっては、大会スポンサーの権利を侵害しないこと。

(例:大会スポンサー以外の団体が「〇〇(団体名)は「FINA 世界水泳 2022 福岡大会」を応援しています。」等の表現はできません。)

## 4 申請の流れ

### (1)実施する関連プロジェクト内容の申請

認証申請書及び必要提出書類とあわせて電子メールで以下の提出先に、件名を【関連プロジェクト申請】として提出してください。

認証申請書は大会公式ウェブサイトのホームタブ「大会について」の「関連プロジェクト」に掲載

<https://www.fina-fukuoka2022.org/intro/ocproject/>

<提出書類>

【必須】

- 認証申請書
- 誓約書兼同意書
- 団体の活動内容がわかる書類(規約等)
- ロゴマーク等を使用する告知物等のデザインデータ
- 収支予算書(参加料を徴収する場合)

【任意】

- 企画内容がわかる書類(企画概要書等)

※実施する関連プロジェクトごとに申請が必要です。

※審査に時間を要する場合がありますので、マーク等が必要な時期の1ヶ月前までに申請してください。

<提出先メールアドレス>

[fukuokaoc@city.fukuoka.lg.jp](mailto:fukuokaoc@city.fukuoka.lg.jp)

### (2)審査・認証

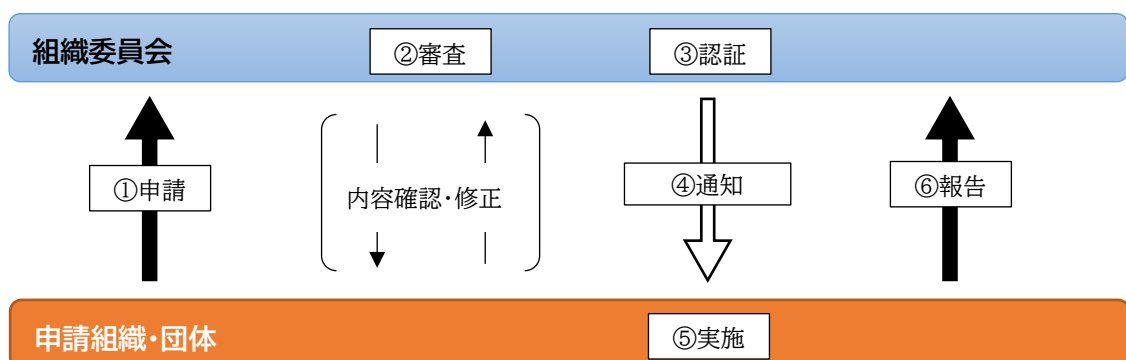
組織委員会で関連プロジェクトの内容を審査し、認証の可否を連絡します。

### (3)実施した関連プロジェクトの報告

関連プロジェクト終了後、1ヶ月以内に以下の必要提出書類とあわせて電子メールで提出してください。

- 実施報告書(様式は大会公式ウェブサイトに掲載)
- 実施時の記録写真(組織委員会が大会公式ウェブサイトでの広報等に使用)  
※報告に使用する写真は、予め肖像権、著作権等、各種権利を処理してください。

<申請フロー>



## 5 その他留意事項

### (1)留意事項

- ①提出された資料等は返却いたしません。
- ②申請書を提出後、関連プロジェクト内容及び予算額に大きな変更が生じることのないよう、実施内容は十分検討の上で具体的に記入してください。
- ③関連プロジェクトの中止や内容に大きな変更が生じた場合は、速やかに連絡してください。
- ④マーク等については、本ガイドライン及びマーク等取扱基準に基づき適正に使用してください。
- ⑤認証後、本ガイドラインに違反した場合、また、関連プロジェクトの実施内容等が不相当と認める場合は、組織委員会はいつでも当該関連プロジェクトの認証を取り消すことができ、当該主催者は、組織委員会の指示に従って認証に付随して可能な事項を直ちに中止しなければなりません。
- ⑥活動等に伴う損害等については、組織委員会は一切の責めを負いません。
- ⑦組織委員会は、必要に応じて本ガイドライン等を改訂できるものとし、認証関連プロジェクトの申請者等が改訂後のガイドライン及びマーク等取扱基準が公表された後に認証関連プロジェクトを実施した場合には、改訂後のガイドライン等に同意したものとみなします。

### (2)情報の公開

認証された関連プロジェクトについては、申請者の名称や事業概要等の情報を申請書類の範囲において編集し、組織委員会または組織委員会が認める第三者のウェブサイト等で公表する可能性があります。

### (3)個人情報の取扱

申請書に記載された個人情報は、「福岡市個人情報保護条例」に基づき、適正に取扱います。

## 6 問い合わせ先

FINA 世界水泳選手権 2022 福岡大会組織委員会事務局(福岡市市民局内)

住 所 〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号

電 話 092-711-4938

E メール [fukuokaoc@city.fukuoka.lg.jp](mailto:fukuokaoc@city.fukuoka.lg.jp)

受付時間 9:00～17:30(土日祝日・年末年始を除く)